ＪＲ東海労ニュース

№１８６５
２０１３年8月9日
ＪＲ東海労働組合

米軍ヘリ墜落に抗議する！ オスプレイ配備・飛行訓練反対！

８月５日16時ごろ、沖縄県宜野座村の米軍基地キャンプ・ハンセン内の山中に、米空軍嘉手納基地所属のヘリコプターＨＨ60（全長約17ｍ、重さ約10ｔ）が墜落し炎上しました。墜落した現場は、宜野座村役場から北へ約４㎞の原生林が広がる地域で、沖縄自動車道までは最短約１㎞で、周辺にはＪＡの研修施設やゴルフ場、ダムなどがあります。ＨＨ60は今年６月５日、沖縄県北部の東村の米軍北部訓練施設内に緊急着陸、2009年４月には燃料システムの不具合で渡名喜村のヘリポートに緊急着陸するなど、トラブルが続いています。1972年の日本復帰後だけでも墜落事故は45件目。事故機には、2004年の沖縄国際大学ヘリ墜落事故で問題となった放射性物質ストロンチウム90が使用されているとも伝えられています。

今回の事故は、沖縄県民をはじめ多くの国民が反対する垂直離着陸輸送機ＭＶ22オスプレイの追加配備予定日に起きました。米海兵隊は配備延期を発表しましたが、配備自体を中止したわけではありません。

日米両政府は昨年10月、沖縄県をはじめとする日本全国の圧倒的多数の反対の声を押し切って、沖縄県普天間飛行場にＭＶ22オスプレイを強行配備しました。ＭＶ22オスプレイは、今回墜落した機種とは違いますが、実戦配備後も墜落事故を繰り返しています。事故の危険性が指摘される飛行方法を米軍施設上空に限定し、人口密集地上空の飛行は避けるなどの日米合意も守られていません。危険なオスプレイ＝軍用機が我がもの顔で沖縄の空を飛び回り、日本中へと拡大させようとしています。

米軍ヘリ 沖縄で墜落

基地内 3人脱出、1人不明

米軍基地キャンプ・ハンセン（沖縄県宜野座村など）敷地内の訓練地区で5日午後4時ごろ、米空軍嘉手納基地（嘉手納町など）に所属する訓練中のHH60救難ヘリコプターが墜落炎上した。同基地が明らかにした。墜落現場は住宅地から約2キロ離れた基地内の山中。防衛省によると、乗り組んでいた4人のうち3人は脱出したが、1人は安否不明。一方、沖縄県警は、乗員は6人との情報もあるとしている。県民に負傷者はないという。

関連記事3、4、29面へ

米海兵隊は5日夜、予定していた普天間飛行場（宜野湾市）への新型輸送機ＭＶ22オスプレイ機の着陸を中止した。基地（山口県岩国市）から普天間飛行場への移動を一時見合わせる。延期期間は明らかにしていない。

沖縄県警や地元消防は5日、基地内に立ち入らなかった。日米地位協定により、米軍の合意なく基地内に立ち入ることはできない。県警によると、墜落したヘリはほぼ全焼状態で、火が立ち上り一帯に白煙が上がった。

小野寺五典防衛相は「しっかりとした再発防止策を要望」と話し、沖縄防衛局は嘉手納基地に対し「周辺住民に不安を与えたことは遺憾だ」と電話で申し入れた。

キャンプ・ハンセン　名護市　恩納村　金武湾　宜野座村　観覧　沖縄　金武町　嘉手納基地　那覇　30km

墜落した米空軍救難ヘリHH60の同型機　2008年7月

８月６日
『静岡新聞』

私たちの東海エリアでは、キャンプ富士（静岡県御殿場市など）でのオスプレイ飛行訓練が予定されています。あらゆる仲間と連帯し、オスプレイ配備・飛行訓練、全ての軍事訓練に反対しよう！

さらに、太平洋空軍のカーライル司令官は、空軍仕様のオスプレイＣＶ22の、嘉手納基地や横田基地への配備に言及しました。ＣＶ22は陸軍特殊部隊の輸送など特殊作戦機として運用されるため、ＭＶ22に比べて事故率が高いといわれ、昨年６月には米国内で訓練中に墜落事故を起こしています。

私たちの東海エリアでは、キャンプ富士（静岡県御殿場市など）でのオスプレイ飛行訓練が予定されています。あらゆる仲間と連帯し、オスプレイ配備・飛行訓練、全ての軍事訓練に反対しよう！